



東京ワーカーズ・コレクティブの学習講座「生活クラブの学校」

生活クラブ・東京の9万人の組合員に「ワーカーズ・コレクティブ」という働き方を知ってもらうことを目的に2021度から始まった「生活クラブの学校」の～ワーカーズ・コレクティブ講座～。参加者は申し込み含め10月現在累計62名。東京以外の方や、組合員から紹介された一般の方の参加もありました。

2022年度は生活クラブ・東京との共催企画6月から前半(10月迄)9講座、後半(2023年6月迄)9講座、計18講座で組み立てています。

「安心安全な食の量売り店舗」「地場の無農薬野菜栽培・販売」「タイマッサージとカフェ」「発酵食品製造販売」「地方選挙で女性候補を当選させるコーディネート」…まさに「夢を形にしよう!」を地でを行っています。

今、まちには画一的な事業所ばかりが増えているように感じませんか。多様で個性的な事業所がもっと生まれてほしいと思います。働き辛さを感じている方の参加では、自ら仕事を作りたい思いが、現状の働き方には無いのだと改めて気付かされます。

事業の違いはあっても、小さな事業所が連携することがワーカーズ・コレクティブの強みです。起業講座はタネまき講座です。何処からともなくやがて芽が出て、ひとつの新たな事業所になることを夢見て、これからも沢山のタネを撒いていきたいと思っています。

(東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合 理事長和田安希代)

①基礎編

「生活クラブ生協から生まれたワーカーズ・コレクティブ」
「ワーカーズ・コレクティブと労働者協同組合」

②協同組合を学ぶシリーズ

「生活クラブが協同組合だって知っていましたか?」

③起業講座(1~3)の3バージョン

参加者の中には、「労働者協同組合法」施行を機に、「労働者協同組合」の法人格で起業を考えたい等、協同労働への期待が感じられる講座になっています。

起業講座は「自分のやってみたいこと」「こんな機能があったら良いな!そこから事業にするならどんな事業になる」「収支を作ってみる」「原資はどうやって集めるか」などを組み立てる計画実践編です。



ワーカーズ・コレクティブ連合組織から



愛知ワーカーズ・コレクティブ連合会は、愛知にワーカーズ・コレクティブが5団体できたことを機に設立し10年目を迎えました。

2004年に第1号の配送ワーカーズができ、「介護保険制度、自主の家事支援を行うたすけあいワーカーズ」、「広告、編集、HP等を手掛ける編集ワーカーズ」、「講座企画、講師派遣を行う講師の会」、「もう一つの配送ワーカーズ」があり、未だ5団体ですが、102名のワーカーが働いています。

連合会の活動として特徴的なものは、つながりを創り出す月1回子育てひろば(コロナ禍でオンライン開催)の開催、生活クラブ愛知の展示会事業に事務局、当日スタッフとして一部の業務を受託し収入を得て活動費としています。

生活クラブ愛知の活動には員外理事としても連合会から参加し、まちづくり政策とワーカーズ・コレクティブを繋げています。今年度は、第10次長期計画立案の年、「生活クラブ2030行動宣言」や「ローカルSDGs」へのチャレンジとも重なり、自分たちの言葉で地域政策を表現するための議論に参加しています。

生活クラブ運動を自治領域を拓げる運動として捉え、生協の枠を超えて地域課題を解決する主体として多様なワーカーズ・コレクティブを創出し、連携していくことで持続可能な地域づくりを目指し、夢を語り合い、議論し言葉を紡いでいます。目標に向かってともに行動していくことへのワクワク感は留まるところを知りません。



愛知ワーカーズ・コレクティブ連合会

〒468-0045 愛知県名古屋市中区野並 1-120 生活クラブ生協内 TEL 052-899-0801 Email aiti_wco@yahoo.co.jp

～ 関東ブロック～

労働者協同組合法周知フォーラム開催

9月17日、厚生委労働省・自治体共催による「労働者協同組合法周知フォーラム」が、千代田区の一橋講堂で開催されました。

参加者からは「多様な実践事例を聞いた」、「なぜ労働者協同組合法人を選ぶのか分かった」、「協同労働の運営が伝わった」などの感想が寄せられました。

主催者の厚生労働省雇用環境 村山均等局長からの働き方生き方の選択肢が増え、参加を増やし「暖かい発展を」との挨拶ではじまりました。



大高研道明治大学教授

基調講演は大高研道明治大学教授による「労働者協同組合制定の現代的意義」。

協同労働は問題を抱えた誰かのためにすることと捉えられがちだが、関わる全ての人の「よく生きる=well-being」(福祉)ということ。その内実をいかに豊かにするかがポイントとなる。

またフラットな関係性のなかで繰り広げられる働きは、雇用—非雇用、支援—非支援、サービス提供者—お客さんの枠組みを超えると話されました。

事例紹介は5団体が登壇。ワーカーズ・コレクティブからは「くらしサポートワーカーズ・コレクティブ Lavori」と「企業組合つどい」が報告しました。



一橋大学講堂へのリアル参加約150名、オンライン参加約300名と、多くの参加がありました。

「労働者協同組合法をどう活用するか」をテーマに事例紹介を行った団体

- くらしサポートワーカーズ・コレクティブ Lavori (神奈川県横浜市)
- 企業組合つどい (飯能市)
- ワーカーズコープちば (船橋市)
- ワーカーズコープ・センター事業団あぐり〜ん TOKYO (東京都大田区)
- 株式会社創造集団 440Hz (新宿区)



「Lavori」の五十嵐さん

Lavorinoの五十嵐さんの「サービスを提供しているお客さんと共に生きていくと感じた」という若いワーカーの言葉から、「ケア力」「人間力」を高めていく働き方を感じた。との報告は、大高先生のお話にあった、フラットな関係性の具体的なエピソードそのものでした。

8つのワーカーズ・コレクティブからなる「つどい」濱本さんは「法人格を労働者協同組合へ変更することで、本来の自分たちの思いに添った目的を掲げられる」と言い切る姿からは、長い間妥協しながら、決して設立趣意を忘れないようにと、常に伝え続けてきた苦勞が伝わりました。



「つどい」の濱本さん

最後に藤井 WNJ 代表が、「多様な事例報告を受け、持続可能な地域社会づくりを目的に、たすけあう、ささえあう、多様な人々の結合体、協同組合としてのアイデンティティを組織や事業運営の基本とする労働者協同組合法人の役割と意義を、今後もおおぜいの皆さんと共有していきたい」との言葉でフォーラムは終了しました。

「Information」



労働者協同組合法周知フォーラム

関西ブロックフォーラム

日時：2022年10月29日(土)
13:30～16:00
会場：AP 大阪淀屋橋 4F
オンライン：Zoomウェビナー使用

基調講演

広井 良典 (ひろい よしのり)
京都大学人と社会の未来研究院 教授

中部ブロックフォーラム

日時：2022年11月6日(日)
14:00～16:30
会場：名古屋造形大学ホール
オンライン：Zoomウェビナー使用

基調講演

朝倉 美江 (あさくら みえ)
金城学院大学 教授

参加申し込み
特設サイト

「知りたい！労働者協同組合法」
<https://www.roukyouhou.mhlw.go.jp/>

10月22日、フォーラム開催！
生活クラブ連合会の顧問・伊藤由理子さんを迎えて「働くってなんだろう？ 生き方は選べます」
ワーカーズ・コレクティブの原点を見つける
生活クラブ生協埼玉・埼玉ワーカーズ・コレクティブ主催

「雇う、雇われる」の関係を超えた組織で事業を起す「ワーカーズ・コレクティブ」の根拠法を創る活動始め40年の歳月が流れました。この間、自分たちの働き方を社会化するためだけでなく、「雇用労働に対しての問題提起」として「人間らしい働き方」、「働く人を主人公にした職場づくり」を目指して多くのワーカーズ・コレクティブを創りだしてきました。

労働者協同組合法が成立したことで、私たちが目指した「デイリーセン」トワーク(働きがいがある人間らしい働き方)は、実現するでしょうか？労働者協同組合法だけではくれない、私たちが目指す社会の姿があると思います。

このフォーラムで、ワーカーズ・コレクティブの原点に触れ、それによって多くの皆さんからの共感が得られ、各地域のワーカーズ・コレクティブの活性化につながることを期待しています。



参加申し込みはこちらから